

Ivanhoe Grammar School 生徒受け入れ

今年度も、オーストラリア・メルボルンにある Ivanhoe Grammar School の生徒6名を1月9日～24日の約2週間受け入れ、本校生徒の家族がホストファミリーとなり生活をともに過ごしました。留学生は外国語として日本語を学んでおり、語学力の向上と異文化の体験を目的に本校に学びに来ました。昨年度から始まったこの交流活動ですが、昨年の経験から本校生徒も積極的に交流する様子がよく見られ、両校生徒ともに充実した2週間を過ごしました。

特に今年度は、授業内で交流することが多く、書道では本校生徒が筆の持ち方や書き方を教えたり、家庭基礎では調理実習でいちご大福を作ったりし、総合的な学習の時間では、本校生徒が百人一首の説明をして、留学生が百人一首大会に参加できるようになりました。このように、日本の文化を本校生徒が伝え、留学生に体験してもらう授業もあれば、世界史Aの授業では、本校生徒が世界史の時代劇を英語で発表したり、生物の授業ではともに実験をしたりするなど、留学生を迎え入れた授業も行いました。



書道の道具について説明をしている様子

留学生は様々な漢字に挑戦！

憂鬱と書く留学生も・・・



百人一首の様子

下の句を聞き分け、20枚近く取る
留学生も。この輪の中に教員も入り
真剣勝負していました。



生物実験の様子

DNA採取の実験。実験結果に驚きの
連続でした。

業後は、本校のホストファミリーの生徒がいる部活動に参加して、部活動の生徒とも交流をしたり、また昨年に引き続いて、英語落語の喜餅さんを招いて、英語落語を楽しんだりしました。また、「日本文学を知ってもらう」では、本校生徒が古典文学（源氏物語、伊勢物語、平家物語）の説明を行い、留学生にその魅力を知ってもらいました。



茶道部でお茶を点てている様子

本校生徒とペアになって、お茶の点て
方を学んでいます。専門用語など伝え
るのに苦労しました。



英語落語で落語に挑戦している様子

英語落語家の喜餅さんによる落語を英
語で聞いた後に、実際に落語に挑戦し
ました。落ちに思わず本人も笑ってし
まいました。



源氏物語の資料を読んでいる様子。

説明後の交流で、留学生が英文学を学ぶ方
法と、日本人が古典を学ぶ方法は一緒だと
わかりました。

最後に・・・

今年度も夏にオーストラリア語学研修、冬に Ivanhoe Grammar School 生徒受け入れと国際交流活動を行うことができました。この目的は、お互いの語学力の向上と異文化の体験ですが、その中で最も大切なことは、世界の同世代の人がどのように考えているのかを知り、そして自分がどのように考えているかを伝えることです。これが英語を、日本語を学ぶ意欲につながります。